

令和2年度(2020年度) 特定非営利活動法人はんどいんはんど東総 事業報告書

| 事業名                 | 担当者   | 事業内容  | 対象者の範囲及び人数  |
|---------------------|---|---|---|
| ① 広報活動              | 櫻井<br>五畿田   | ホームページで法人の活動を紹介   | 会員及び地域住民  |
|                     | 報告  | 実施場所<br>実施日時<br>随時更新  |   |
| ② 学習会               | 報告  | 「でこぼこ研究会」「虐待防止委員会」、他団体と協働してオンライン開催した「次世代介護福祉人材発見プロジェクト」報告等。新型コロナウイルスの影響で活動が縮小されたため、例年のように多岐にわたる活動を伝えることは出来なかったが、当会が何をしているのか理解してもらうことを目指し、ブログ等で情報を発信した。<br><br>ニュースレター…次年度発行予定 |   |
|                     | 報告  | 【講演会】 未実施<br>実施場所 未実施 実施日時 未実施  |   |
| ③ 啓発<br>&<br>社会参加事業 | 柳瀬<br>成戸<br>出口<br>和田<br>城戸<br>櫻井                              | ①当事者研究事業(でこぼこ研究会)<br>②おうちで家庭円満プロジェクト企画への協力<br>③自殺対策相談会の相談員  | ①旭市及びその近隣住民、当事者、家族定期開催。計10回、122名(平均12.2名参加)<br>②自粛せざるを得ない状況下で生活のしづらさを抱えている方々、専門機関の支援者<br>③経済問題・生活問題を抱える市民(相談3件) |
|                     | 報告  | 実施場所 旭市内/YouTube 実施日時<br>①別紙報告書参照<br>②YouTube<br>③2020年11月21日   |   |
| ④ サポート<br>ハンド事業     | 迫屋<br>和田  | 精神障がい者への生活資金の無利子貸付及びに日用品の安価な譲渡  | 旭市及びその近隣地域の精神障がい者   |
|                     | 報告  | 実施場所 旭市近郊 実施日時 随時 別紙報告書参照   |   |
| ⑤ 交流事業              | 坂本(遥)<br>永作 櫻井<br>和田 柳瀬<br>成戸 宮内<br>グループホーム<br>ひまわり工房<br>オラカラ | ①次世代介護福祉人材発見プロジェクト<br>②グループホーム交流会<br>③ひまわり工房交流会<br>④オラカラ交流会   | ①42名(学生28名+教員2名+旭市内の介護福祉等に係る専門家12名)<br>②入居者 5名+4名<br>③利用者 12名<br>④利用者 8名  |
|                     | 報告  | 実施場所 ①はオンライン 実施日時 別紙報告書参照   |   |
| ⑥ こころの<br>ほっとスペース   | 高岡<br>櫻井<br>柳瀬<br>成戸  | 未実施   |   |
|                     | 報告  | 実施場所 未実施 実施日時 未実施<br><br>新型コロナウイルスの影響で、会食自粛要請のため、今年度は開催ができなかった。   |   |

|  |                                  |   |        |      |                              |
|--|----------------------------------|---|--------|------|------------------------------|
| ⑦ 例会                                     | 理事                               | 未実施   |        |      |                              |
|  |                                  | 実施場所  | 未実施    | 実施日時 | 未実施                          |
|  | 報告                               | 「みんなでワイワイピザ窯作り(永井氏の知事表彰を祝う会)」を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響で開催できなかった。  |        |      |                              |
| ⑧ イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン                    |                                  | レシート金額の1%   |        |      |                              |
|  |                                  | 実施場所  | 旭サンモール | 実施日時 | 毎月11日                        |
|  |                                  | 収入15,800円(4月7,100円、10月8,700円)<br>支出15,800円<br>内訳 管理費(会議費5,526円、消耗品費10,274円)   |        |      |                              |
| ⑨ 虐待防止委員会                                | 櫻井、菅谷<br>横山、大屋<br>城戸、永井<br>迫屋、和田 | 虐待につながりうる事案、虐待の防止に関わる取り組みの共有。<br>各事業所共通の課題に対する研修、検討会の実施。  |        |      | 会員<br>事業所職員                  |
|  |                                  | 実施場所  | ひまわり工房 | 実施日時 | 委員会計2回<br>研修会1回              |
|  | 報告                               | 詳細は別紙報告書参照<br>感染対策に十分配慮した上で、外部講師を招き研修を行うことができた。   |        |      |                              |
| ⑩ 就労移行支援<br>就労継続B型<br>就労定着支援<br>(ひまわり工房) | 中山<br>坂本                         | 障がい福祉サービス事業<br>運営はひまわり工房運営委員会に委嘱  |        |      | 利用実人数 25名(移行・B型)<br>8名(就労定着) |
|  |                                  | 実施場所  | 旭市近郊   | 実施日時 | 通年 月～金                       |
|  | 報告                               | 別紙ひまわり工房事業報告参照  |        |      |                              |
| ⑪ 共同生活<br>援助事業<br>(グループホーム)              | 坂本(遥)<br>片倉 城戸<br>宇田川            | 障がい福祉サービス事業<br>運営はにじの家・ハーモニーハイツ運営委員会に委嘱   |        |      | グループホーム入居者9名                 |
|  |                                  | 実施場所  | 旭市内    | 実施日時 | 通年                           |
|  | 報告                               | 別紙、にじの家・ハーモニーハイツ事業報告参照  |        |      |                              |
| ⑫ 自立生活<br>援助事業<br>(アンダンテ)                | にじの家に<br>付設                      | 障がい福祉サービス事業<br>運営はにじの家・ハーモニーハイツ運営委員会に委嘱   |        |      | 利用者実人数3名                     |
|  |                                  | 実施場所  | 旭市内    | 実施日時 | 通年                           |
|  | 報告                               | 別紙、アンダンテ事業報告参照  |        |      |                              |
| ⑬ 多機能型事業所<br>生活介護<br>生活訓練<br>(オラカラ)      | 中村<br>宇田川                        | 障害福祉サービス事業<br>運営はオラカラ運営委員会に委嘱<br>地域連携会議を開催している(年3回程度)   |        |      | 利用実人数 7名(生活介護)<br>12名(生活訓練)  |
|  |                                  | 実施場所  | オラカラ   | 実施日時 | 通年 月～金、その他年末年始、GWなど事業所が定めた日  |
|  | 報告                               | 詳細は別紙報告書参照。<br>高齢利用者の生活の質の向上・健康の自己管理の促進には一定の効果が見られている。また、長期入院者(年度途中で入院のため退所)・頻回入院体験者へのきめ細やかな生活支援個別支援を実施している。オラカラの強みである「就労とは一味違った地域貢献活動」は利用者はまだ少ないが地域住民から喜ばれ貢献ができていていると感じている。新型コロナウイルスの影響はあるが、まだ十分な周知がされていない「生活訓練」を行政や関係機関に知っていただき、利用者を増やすこと、より連携を図る必要性を感じている。 |        |      |                              |